



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005.7.1
NO.1

- 1. 2005-2006 年度国際ロータリー会長紹介 1
- 2. カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長 (テーマ演説) 2
- 3. ガバナー就任ご挨拶 3
- 4. 2004-2005 年度ガバナーへの謝辞 4
- 5. 識字率向上月間 5～7
- 6. 地区ガバナー・ノミネー候補者推薦について 9
- 7. 7月行事予定表 10



〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F
国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所
TEL (073) 428-2640
FAX (073) 428-2643



2005-2006 年度

国際ロータリー会長紹介



カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏 (Carl-Wilhelm Stenhammar)

スウェーデン イェーテボリ

2004-05 年度 国際ロータリー会長エレクト

1996-98 年度 国際ロータリー理事

1997-98 年度 RI 財務委員会委員長

1997-98 年度 RI 監査委員会副委員長

1998-00 年度 RI 監査運営審査委員会委員

1987-88 年度 地区ガバナー

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、国際的な製品の食品ブローカーであり、ガストF・ブラット社の元オーナーです。ビジネスで活躍していた頃、ステンハマー氏は世界中を回りました。さらに、同氏は数社の理事および地元の私立学校の理事長を務めてきました。

ステンハマー氏は、1974年以來のロータリアンです。氏は入会后すぐにロータリーのあらゆるレベルの活動に参加し、クラブ、地区、そして国際レベルで数多くの役職をこなしてきました。地区では、青少年交換委員会、会員選考委員会、スウェーデン・ロータリー青少年交換財団などの委員長を歴任しました。また、氏が所属する地区の国際ロータリー奨学金財団の会計を担当し、1987-88年には地区ガバナーを務めました。

青少年奉仕委員会に任命された1991年、同氏はロータリーへの国際奉仕を開始し、1993年には同委員会の委員長、そして青少年奉仕実行グループの地域コーディネーターを歴任し、数々の国際ロータリー研究会のモデレーターを務めました。同氏は、フィンランドからアフリカ

までの地域、米国、そしてインドまで、数多くの地区大会にRI会長代理として派遣されました。1996-98年度にはRI理事を務め、それ以来、執行委員会のメンバーや財務委員会委員長、監査委員会の副委員長などを歴任しました。

1998-2000年度には、RIの監査運営審査委員会の委員に、2001年にはサンアントニオ国際大会委員会の委員となりました。同氏はまた、1999-2000年度地域雑誌編集者セミナーのモデレーター、2000-04年度ヨーロッパおよびRIBI恒久基金委員会の委員長、ストックホルムで開かれた2003年度会長主催祝賀会議の議長、2003-04年度識字および教育推進グループの総コーディネーター、国別ポリオ・プラス担当顧問、およびポリオ撲滅提唱グループのメンバーを務めました。

ステンハマー氏は、1935年1月16日、スウェーデンのイェーテボリに生まれました。1962年にモニカ夫人と結婚し、2人の息子、そして2人の孫息子と孫娘が1人います。ステンハマー氏はロータリー財団の大口寄付者およびベネファクターです。



2005-06年度 国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
スウェーデン イェーテボリロータリークラブ



朋友ロータリアンの皆さん

2005-06年度、私たちは、確固たる基盤および羅針盤となる過去の成功の数々、そして意欲を引き出す豊かな歴史とともに、ロータリーの奉仕の第2世紀へと踏み出しました。私たちは過去の栄光に閉じこもるべきではありませんが、そこから学ぶことは、将来への確かな前進のエネルギーとなるはずです。

このことを念頭に置きながら、私は、自分の重要な使命を的確に表すテーマを選ぶべく、これまでの世紀にロータリアンが書き記してきた数々の叡智に満ちた言葉に目を向けました。私たちの思考を導き、行動を促すあらゆる感動的なメッセージの中でも、ロータリーの標語「超我の奉仕」の5文字ほど、的確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉はありませんでした。

私たちがロータリーの第2の百年の第1章を書き始める今年度に、国際ロータリーの会長とすることができ、大変光栄に思います。この重要な年度のテーマとして「超我の奉仕」を選ぶことは、ロータリアンを鼓舞する最も意義深い言葉を使いたいという私の願望を反映しています。しかし、私はまた、ロータリーでの日々を簡素に保つ努力、すなわち、過去からの継続

を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えることが必要であるとの思いからも、このテーマを提案いたします。従って、私は、これまでに絶大な成果を上げてきた、人類の基本的ニーズを表す諸分野に焦点を当てたいと望んでいます。

このような分野の一つに、識字率向上と教育があります。一対一の取り組みから大規模な識字率向上プログラムに至るまで、ロータリー・クラブは、読み書きを学ぶ人々を助けるための数多くの素晴らしいプロジェクトを実施してきました。学校に教材を提供し、教師を教育し、子供たちに通学に必要な衣服や本を提供してきました。そして世界中の地域社会においては、ロータリアンが学校を訪問し、子供たちに本を読んで聞かせ、その逆に子供たちが本を読むのを聞いてあげてきました。

これら数多くの成功にもかかわらず、未だ無数の成人が、簡単な文の読み書きができず、実用的な識字能力を備えていません。つまり、通常の業務や毎日の生活に必要な読み書きや計算を行うことができないのです。この問題によって、自分をはじめ家族を養う上で非常に多くの人々に制約が課せられており、この問題への

取り組みに、ロータリーの豊かな経験と継続的活動が必要とされているのは明白です。

2005-06年度を通じて、私は、世界各地でロータリアンが効果的に取り組んでいる問題、すなわち水保全に関連する活動も継続するようロータリアンに奨励していきます。ロータリー・クラブによる無数の水プロジェクトのおかげで、何十万もの人々が今や水を手に入れることができ、飲用水や適切な衛生環境による多くの保健上の恩恵を受けています。

しかし、未だ多くの課題が残されているのも事実です。あまりに多くの人々が、安全な水の供給を受けられず、適切な衛生環境に恵まれていません。その結果、予防できるはずの水を介在とした感染症によって死ぬ必要のない多くの人々が死亡しています。水保全問題はまた、食糧供給にも影響を与えています。1人の人間が必要とする毎日の食事を生産するためには、2,000から5,000リットルもの水が必要とされているからです。国連は、この世界的な水の危機を「経済発展、貧困緩和、環境、そして平和と安全への脅威」と表現しています。飢餓を軽減し、この重要な資源が奪われている人々の保健と福祉を改善するために、ロータリアンの継続した活動が是非にも必要とされているのです。

識字率向上と水保全が注目すべき二つの緊要な問題であると私は確信していますが、その一方で、ロータリー・クラブもまたこれに優るさまざまな重要問題に取り組んでいることを承知しています。ロータリーの素晴らしさは、奉仕の機会を数多く提供してくれることにあります。クラブは地元地域社会のニーズを見極

め、それを叶えるためにいかにしてその人材源や資源を生かすことができるかを判断します。この草の根の参加がロータリーの成功の特徴であり、私は、地元や海外の地域社会にとって最も有益となる奉仕を引き続き行っていただくよう、すべてのクラブに奨励したいと思います。

しかしながら、これは一人で実行できることではありません。多くの場合、私たちは同じ理想や目標を共有する他団体と協力して活動することによって、地域社会のために多くを成し遂げることができます。年度の奉仕計画を立てられるにあたり、他団体と協力関係を結ぶことによって、クラブの活動をいかに広げることができるかを検討してみてください。

1911年、ロータリアンは「超我の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
2005-06年度 国際ロータリー会長

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 平尾 寧章

クラブ会長様・幹事様、この1年間、毎月ガバナーとしての書翰を差し上げることになりました。歴代ガバナーは、それぞれ工夫をこらされ立派な月信を出してこられました。

昨年ガバナーエレクトとして指名をうけて以来、中島パストガバナー始め、パストガバナーの皆様、成川研修リーダーより指導をうけ、又2度にわたるGETS（ガバナーエレクト研修セミナー）やゾーン研究会・財団セミナー・米山セミナー等で教育をうけ、又アナハイムでの厳しい研修もうけてまいりました。

少しでも皆様のお役に立てるよう努力致します。



RI 会長ご夫妻

RI 会長カールヴィルヘルム・ステンハマー氏は、RI テーマを Service Above Self（超我の奉仕）とした上で、

- ① 識字・水・保健・飢餓の人的で国際的活動の継続性を協調されています。中でも識字と水については国連その他の団体との協力を検討しましょう。と言っています。そして RI 理事会はポリオプラスプログラムを完了するまでは世界規模のプロジェクトを開始しないという決定をしています。
- ② 会員増強として純増1名以上を！と言っています。高齢化や病気死亡による自然退会や個人の事情も考えると難しいクラブもあるかもしれませんが会員あつてのロータリークラブです。よろしく願い致します。そして、女性会員に入ってもらい、女性のクラブ会長・地区ガバナーを増やしていきましょう。とのこと。ちなみに、当地区においては女性会員のいるクラブは会員減少が少ないのです。
- ③ 青少年交換を推奨しています。私の夢はすべての15歳～19歳の青少年交換が実現したら、この世から戦争が消えてなくなるでしょう。と言っています。経費の面での問題もありますが、今まで取り組んでいないクラブ、又酷い目にあつたクラブも青少年プログラムに挑戦して下さい。

私は、地区方針として地区協議会にて「例会の充実と出席率の向上」をお願い致しました。会員減少が続く中、今こそロータリーの原点の一つである例会の規則的出席が必要です。そのためには例会が楽しく、出席したくなるようなクラブの雰囲気であり、プログラムも近隣クラブとの交換卓話等も良いと思います。会長・幹事様を中心に工夫して下さい。言うはやすく、行うは難しいですが、マンネリに落ち入らないよう発想の転換が必要なこともあります。相当な年会費を払っているのですからクラブのために自分のために有効に使いましょう。

中島パストガバナーへの感謝の言葉

ガバナー 平尾 寧章

中島パストガバナーは地区の事情で2004年2月6日に2度目のガバナーエレクトを受けられ2月15日にアナハイムの国際協議会に参加されました。

18年前にガバナーをされ、その後国際ロータリーの中枢で活躍されています。

地区組織を簡素化され、地区事務所も前年度の事務所をそのまま使い、経費節約を行い、そして101委員長として地区の改革を実践されました。私も事務所を引き継ぎベテランの職員と共にガバナー一年度を向かえます。中島ガバナーは地区の方針として「地域の活性化」とされ、全クラブを個別に公式訪問され、IMや各種委員会もきっちりこなし、いつもそのスピーチに感銘をうけました。

地区協議会も米国から帰国された翌日に実施されました。私は家内には中島ガバナーをスーパーマンと呼んでいます。エレクトの私にも気を使って下さり、アナハイムでは「ステンハマーさんですよ」と私を紹介して下さいたり、いつも質問には的確に答えて下さりました。2005～2006年度のGSEもシカゴの6440地区とのお膳立てをして下さり、アナハイムで6440地区のガバナーエレクトとの対面もスムーズでありました。又、新潟福井災害やスマトラ沖大津波にはリーダーシップを発揮され適切な判断をされました。ロータリーへの情熱と共にロータリーの理念と実践をみごとやりとげられた後の今年度も地区内クラブ又、私や地区へのアドバイザーとなつていただくと共にRIの中枢にて活躍されることをお願いします。



中島 PG との握手写真

識字率向上月間にあたり

国際ロータリー第2640地区
パストガバナー 月山 和男

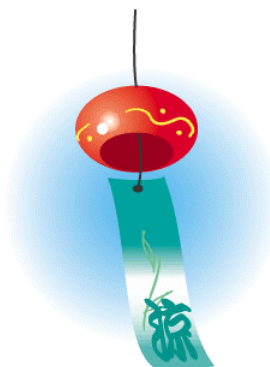


ロータリーには Special Months in Rotary (特別月間) があります。

7月は識字率向上月間、8月は会員増強・拡大月間、9月は新世代のための月間、10月は職業奉仕月間、11月はロータリー財団月間、12月は家族月間、1月はロータリー理解推進月間、2月は世界理解月間、4月は雑誌月間となっております。これらの特別月間にはクラブだけではなくロータリアンひとりひとりがロータリーの活動に参加するよう強調するためのR I 理事会が指定した月間であります。裕福で教育制度の整っている日本では文字の読めない人・書けない人は皆無に近い状況ですので、余り関心が寄せられていないと思いますが世界をみますと15歳以下の人々で10億人近い人々が非識字者であり、そのうちの約6割がアジア地区で占めており、残りの多くはアフリカ・ラテンアメリカの発展途上国に存在しているとの事であります。更に15歳以上の人々を加えると全世界に20億人以上、全世界人口の3分の1の人々が読み書きを出来ないため職に就くことが出来ず、新しい文化や文明に取り残され貧しい生活を送っている現況であります。

1990年を「国際識字年」1998年国連総会で決議採択され各国協力のもと2000年まで非識字状況をなくすようユネスコ中心に活動を致しておりますが、現在でも尚多くの非識字者が存在し、まだまだ道遠しの感があります。

私たちの地区でも堤 啓治パストガバナーが「識字率向上」担当カウンセラーとして、又現役時代より書き損じ葉書を通じ募金活動にご尽力頂いて参りましたし、昨年度の当地区内クラブにおきましても打田RC・堺西RC・和歌山アゼリアRC・和歌山北RC・和歌山東RCがカンボジアのスナータイ・クマエ孤児院の識字教育のための教師報酬や高校教育補助、教科書、文具教材のためにWCS同額補助金の申請書を提出し識字率向上のためにご尽力いただいたところあります。



GLENN. E. ESTESS. SR 2004～2005年度RI会長もロータリー100周年記念年度で4つの強調事項関連プロジェクトの中に識字率向上を取り上げられております。

今世界において民族間の紛争や貧困から来る健康被害、加えて宗教間の争いが多発いたしておりますが、これらはすべて教育の劣悪さに起因するものと思われ識字率を向上させ、文化を高めることにより穏和され、ひいては世界平和につながるものと私は考えております。どうか本年度も識字率向上のために各クラブやロータリアンの方々のご理解のもと積極的な活動に取り組んでいただく様、お願い致す次第であります。

社会奉仕・活動計画

国際ロータリー第2640地区
社会奉仕委員長 笹島 良雄



思いがけず、地区社会奉仕委員長を拝命致しました。微力ですが努力致す所存です。宜しく御協力をお願い申し上げます。

基本理念

社会奉仕は「ロータリーの心臓の鼓動」とも呼ばれ、その活動は地域や全世界にロータリーの特徴を顕示しています。社会奉仕の精神と活動はロータリーの声価に大きな影響を及ぼします。2640地区、社会奉仕委員会は、この基本理念を念頭に於いて活動を考えてゆきます。各クラブの社会奉仕担当の皆様方には地域に対する奉仕活動の意義と重要性をこの理念を再認識の上、ご活躍をお祈りします。

活動計画（2005～2006年度）

1. 各クラブへの情報提供

RIから、又地域での社会奉仕の新しい情報を各クラブに適宜提供したい。その一環として各クラブの社会奉仕活動で、主なる事業2ないし3点提出願ひ、全クラブ分をまとめて地区社会奉仕委員会で発表する。

2. 「ロータリー100周年」記念共同事業

現在進行しつつある、「ロータリー100年の森林」の事業を風化させる事なく推進したい、環境保全委員会と協調し、地球環境の向上、水資源対策そして、「ロータリーの森林」が緑と花の美しさで人々の心を癒すモニュメントになるよう、傾注していく。

3. 高齢者への気配り対策

日本の65歳以上の人口は、2488万人、総人口の19.5%、10年後には、25%になります。地域での高齢者への諸対策は待ったなしで、重要案件となります。又クラブ内での高齢者への諸施策（活性化、退会防止）も重要なポイントとして積極的に進める事を願います。

4. 「エイズ」対策問題への取り組み

今日本では「エイズ」患者が増加しつつあり看過出来ません。各クラブへ関連情報や卓話の提供を行う、又地域機関との提携等でこのエイズ問題に前向きに取り組んでいきたい。

5. 識字率向上運動

今世界で、読み書きできない人は、8億8千万人と推定される。実際は更に多い、インドでは毎年大きな交通事故が4万件以上発生している、事故原因はトラック運転手が交通標識の字を読めない為である。極論乍ら、識字率の向上は、世界での難問をかなり解決すると言われる。ロータリー5代に亘るRI会長及び、平尾ガバナーもこのテーマを重要課題としています。7月度は識字向上月間です。各クラブの更なる盛り上げをお願いしたい。

- 募集方法
- 1 書き損じハガキの集約
 - 2 未使用テレカの集約
 - 3 ポケットコインでの募集

を是非、推進願ひ、応募して頂いた分は地区でまとめて、ユネスコと協調して参ります。是非御協力をお願い致します。

以上、雑白ですが今年度方針をご説明しました。会員皆様のご活動とご協力を切に願ひします。



RID2640

各クラブ会長

会長エレクト各位

地区ガバナー 平尾 寧 章

地区ガバナー・ノミネー候補者推薦について

拝啓 新緑の候、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

日頃、地区運営につきましては、一方ならぬご尽力を賜わり、有り難くお礼申し上げます。

さて、本地区のガバナー候補者推薦につきましては、従来より各クラブからの自発的推薦を待つて該当候補者につき指名委員会が審議を行い、的確と思われる候補者をガバナー・ノミネーとして指名してきましたが、広く人材を求めるべく前々年度から、RI 細則 13 条 2 節 3 項により、ガバナー候補者の推薦を地区内各クラブに要請することとなりました。

つきましては、下記により 2007-08 年度国際ロータリー第 2640 地区のガバナー候補者をご推薦賜わりたく、お願い申し上げます。

敬 具

記

地区ガバナー候補者の資格要件として下記の各項が要求されますが、詳しくは 2004 年度手続要覧をご参照下さい。

- (1) 瑕疵なきロータリアンであること
- (2) 完全に会員資格を有する者
- (3) 瑕疵なきクラブに所属していること
- (4) クラブの元会長であること
- (5) ガバナーの任務を遂行できる能力のあること
- (6) ガバナー就任の時点で通算 7 年以上会員であること
- (7) 選出時点でクラブ会長を全期務めたことのある者

ガバナー候補者推薦状は、RI 細則 13 条 2 節 3 項をご参照の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2005 年 9 月 20 日迄に地区指名委員会宛（ガバナー事務所内）へご提出下さい。

送付先

〒640-8215 和歌山市橋丁 2 3 サイバーリンクス N - 4 ビル 2F
ガバナー事務所内 地区指名委員会

以 上

7月 識字率向上月間

1日	(金)		
2日	(土)	クラブ会員増強委員長会議 延期(7月23日) 第1回諮問委員会	和歌山 JAビル ロイネットホテル和歌山
3日	(日)	2005-2006年度長期派遣学生への第5回最終オリエンテーション 2004~2005年度北半球長期受入学生への修了証書授与式 およびホストファミリーへの感謝状授与式 終了後簡単なパーティー 2005~2006年度短期交換学生送迎会	テクスピア大阪
4日	(月)		
5日	(火)		
6日	(水)		
7日	(木)		
8日	(金)		
9日	(土)	ガバナー・バスターガバナー・ガバナーエレクト懇談会	東京プリンスホテル
10日	(日)	ローターアクトリーダーシップフォーラム 2004-2005年度第1回全国青少年交換委員長会議	はびきのコロセラム 高輪プリンスホテル
11日	(月)		
12日	(火)		
13日	(水)		
14日	(木)		
15日	(金)		
16日	(土)	クラブ社会奉仕・環境保全委員長会議	和歌山 JAビル
17日	(日)	クラブ職業奉仕委員長会議 インターアクト海外研修オリエンテーション (ホストIAC:羽衣学園、清教学園)	和歌山 JAビル
18日	(月)		
19日	(火)		
20日	(水)		
21日	(木)		
22日	(金)		
23日	(土)	クラブ会員増強委員長会議	和歌山 JAビル
24日	(日)	財団地域セミナー 米山奨学生夏季交流研修会	高輪プリンスホテル ルミエール華月殿
25日	(月)		
26日	(火)		
27日	(水)		
28日	(木)		
29日	(金)	泉大津・忠岡RC公式訪問	
30日	(土)	クラブ情報規定委員長会議(後期に延期)	和歌山 JAビル
31日	(日)	御坊南RC30周年記念式典	御坊市市民文化会館



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F
 T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0
 F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3
 勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)
 S T A F F 代表幹事 楠部 賢計
 事務職員 山本千恵子 平田有紀子 清原美和